

自由記述より

各項目後に設けた記述欄に記載されたご意見について、学校側の対応も含めてご報告いたします。

- 参観日に授業を見させていただき、ここ数年で授業の進め方が大きく変わっていて驚きました。突然5年生が6年生の教室に入っていく、窓際に寝転がってタブレットで自主学习を始める姿が見られました。その場で子どもに尋ね理由は聞きましたが、周りの保護者はみな戸惑っているようでした。子ども達や先生にとっては普段通りの授業なのでしょうが、せっかくの授業参観の場ですので、どういう意図やねらいがあつてのことなのかなど、その場で先生から簡単に説明をいただくとありがたいなと思いました。

「自分から」の授業について、単元内自由進度学習を取り入れて、授業改善を図っています。「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「どこで学ぶか」を児童が自分で選択し、調整しながら主体的に学んでいくように職員が支援しています。その学び方の一つとして本校の強みである異学年交流を取り入れています。物事を教えることで、さらに深い学びにつながると考えます。今後は、授業参観をはじめとする授業の在り方について、本校がどのような意図やねらいをもって「自分から」の授業を行っているかをしっかり説明する機会を設け、保護者の皆様のご理解ご協力を得られるように努めていきます。

- 自分の好きな事については学習的に向き合っているが、学問に対しては家ではあまり楽しく向き合えていないように感じます。宿題がまだ普通に出るので、それはつまらなさそうです。

家庭学習については3年生以上では、自分で宿題の内容と量を決めて取り組んでいます。今年度は3・4年生で「宿題会議」を職員と児童で行い、宿題の意義や「自分から」の家庭学習の在り方などに一緒に考えました。自分がやりたいことややらなくてはならないことをしっかり決めて、家庭学習を行うようにしています。自分の夢や希望の実現や興味関心のある事柄について、追究する活動も立派な家庭学習であると考えます。今後も家庭学習やおうち時間の過ごし方等の振り返りを行い、「自分から」の家庭学習について職員と児童が一緒になって考えていきたいと思えます。

- CT/SC や放課後の学校（体育館）利用については、保護者に声をかければ監督・見守りしてくれる人はいるのではないかと思います。先生の負担を増やすことは本意ではないので、読み聞かせや家庭科の補助などと同様に募ってみてはどうでしょうか？

学校と家庭と地域が連携して児童の健全育成を目指すことは、とても意義があることだと考えます。本年度も読み聞かせやミシン等でたくさんの保護者の皆様に協力していただきました。放課後の時間についても、どのような活動が望ましいのか、どのように運営するのがよいのか等を、児童と保護者、学校、それぞれの立場で意見を出し合い、検討していきたいと考えます。

- この他にもオクレンジャーに関することや運動量、感染症予防、防犯カメラ等の安全・安心に関わることなど、たくさんのご意見をいただきました。保護者の皆様や保育所、中学校、教育委員会と連携し、全職員で諸問題の解決に努めていきますので、これからも理解ご協力をよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。